

交雑種肥育牛を飼料自給率30%以上で生産

目的と特徴

- ・自給飼料・エコフィードの利用促進と輸入飼料の削減により飼料自給率の向上を目指します。
- ・ソルガムサイレージとエコフィード（ビール粕・トウフ粕）を活用することにより、飼料自給率を高めた肥育牛生産が可能です。
- ・飼料は細断型ロールベアラを利用して調整し、その後、発酵させて給与します。

細断型ロールベアラを利用した発酵TMRの製造法



原料をミキサーで混合



細断型ロールベアラで梱包



枝肉



発酵TMR給与

ラッピング・発酵
(夏季2週間程度)

飼料を発酵TMRとして給与することで、嗜好性も良く、増体重が期待できます。枝肉成績は慣行肥育法と同等の成績です。

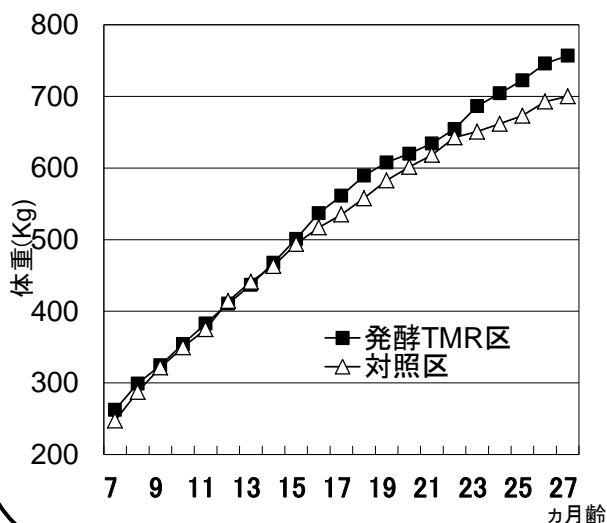
成果

- ・ソルガムサイレージとエコフィード（ビール粕・トウフ粕）の活用により、飼料自給率34%の交雑種肥育牛生産が可能となります。
- ・慣行肥育法と同等の枝肉成績が期待できます。

交雑種肥育向け飼料の構成割合（TDN%）

	ソルガム サイレージ	稲ワラ	ビール粕	トウフ粕	乾草	配合飼料	飼料自給率
発酵TMR区	10.3	6.4	8.4	8.4	0	66.5	33.5
対照区	0	3.7	0	0	6.3	90.0	3.7
備考	自給	自給	自給	自給	輸入	輸入	

体重の推移と枝肉成績



	発酵TMR区	対照区
枝肉重量(kg)	464.5	445.9
ロース芯面積(cm ²)	48.3	40.7
バラの厚さ(cm)	6.8	6.2
皮下脂肪の厚さ(cm)	3.2	4.2
歩留基準値(%)	69.4	67.3
歩留等級	B,B,B,C	C,C,C
肉質等級	3.3	3.0
BMS No.	4.0	3.3
BCS No.	4.3	4.3
肉の締まり	3.3	2.3
肉のきめ	3.3	3.0
BFS No.	3.0	3.0

交雑種肥育牛におけるTMR導入効果のコスト試算

	発酵TMR区	対照区
飼料費(円)	295,000	312,000
枝肉重量(Kg)	466	446
枝肉単価(枝肉等級)	1,100	1,000
枝肉販売額(円)	511,500	446,000
枝肉販売額(円) - 飼料費(円)	216,500	134,000

交雑種の枝肉単価は平成23年5月から12月までの東京と大阪市場の平均相場から算出。

対象作物・家畜、普及対象

- ・ソルガム、肉用牛、全国

対象農家

- ・肥育農家、コントラクター、TMRセンター

必要な道具

- ・TMRミキサー、細断型ロールベアラ、ラッピングマシーン

関連HP

- ・ <http://www.pref.nagano.lg.jp/xnousei/tikusi/>